

超低騒音型・環境保護ベース一体型発電機とは

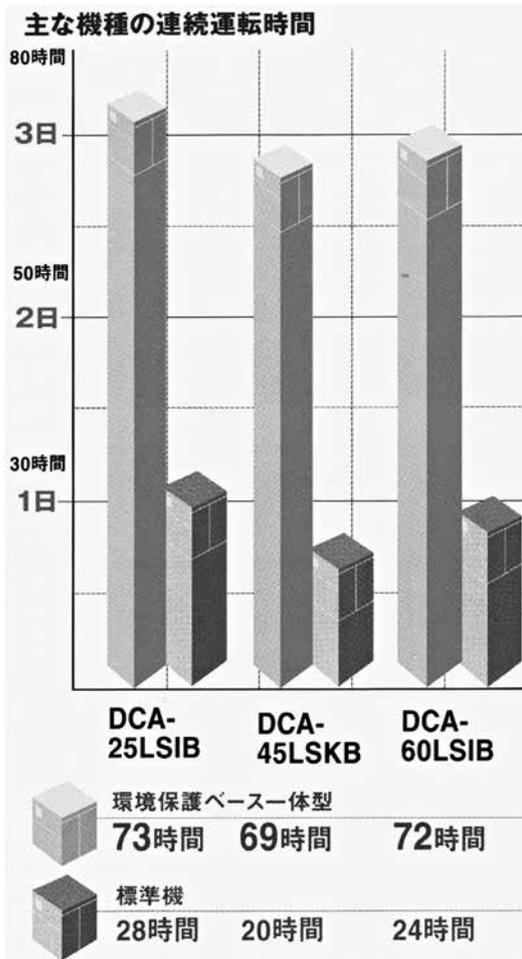
環境保護ベースが一体化 だからオイルを機外に流失させない

ビッグタンクと環境保護ベースが本体発電機と一体化していますので、万が一、給油中に燃料が溢れたり、エンジンオイルなどが漏れた場合には、本体下部のオイルガードに溜めることで外部への流出を防ぎます。これにより設置場所を汚濁しませんので、河川や港湾といった設置基準が厳しい場所でも安心してご使用になれます。



燃料タンクを環境保護ベースに集約 だから大容量で長時間運転

燃料タンクを環境保護ベース内に集約した、大容量ビッグタンクを装備していますので、常時監視の必要性や外部タンクの設置などわずらわしい作業なしに一度の給油で、長時間の連続運転が可能です。



環境保護ベース一体型発電機の装備

雨水侵入防止構造

独自の構造により、降雨時でも機内の雨水侵入量はわずか 0.1L 程度とほぼ 0 に近い侵入量に抑えます。



ワンタッチドレン

1 インチの大口径ドレンバルブを採用。環境保護ベース内に溜まった雨水等も簡単に排水処理が可能です。



鍵付燃料給油口

給油時に燃料をこぼしても、外部に漏れない構造です。また給油扉は鍵付きなので燃料の盗難も防止できます。



液量警報灯 (2段階表示)

環境保護ベース内に油や雨水が溜まると操作パネル上の警報灯にてお知らせします。



着脱可能な環境保護ベース

ボルト・ホース類を外すだけで簡単に脱着できます。環境保護ベースの清掃・メンテナンスに便利です。

公共事業にメリットのある NETIS登録製品です。



環境保護ベース一体型発電機は、全機種国土交通省新技術情報提供システム「NETIS」登録製品です。NETISのメリットは、さまざまな新技術を活用でき、また、公共工事の「工事成績評価」において加点の対象となります。(実際の点数は地方整備局により異なります)

NETISとは国土交通省によって、優れた技術を持つ企業をサポートしながら更なる新技術の開発を促進するために、新技術に関する情報を全国の地方整備局や工事事務所で共有し、各公団や地方自治体が行う公共事業全般に積極的に利用することを目的として設立され、新技術に関する情報の共有および提供を目的とした新技術情報提供システム(New Technology Information System)のことで、インターネットで公開されているデータベース・システムです。2011年1月現在で、約4000件の申請情報が登録されています。

(NETISのホームページ: <http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp>)

※上記は参考数値です。若干仕様異なる場合もあります。